

豊庄だより



第 705 号 2022 年 4 月 18 日

3 月は別れ、そして 4 月は出会いの時期です。4 月になって保育園に次々と新しい出発を始めた卒園児のみなさんが来てくれました。

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

まずはじめは、4 月 1 日。ちょうど給食が始まるころの時です。



た。正門のところで、「入っていいのかなあ〜」「いいと思うよ」などの声が聞こえてきました。この日は中学校の入学式で、「(新 1 年生が来るには) ちょっとまだ早いけど・・・」と思い、のぞいてみると、今年中学 3 年生になった卒園児のみなさんでした。今日は入学式で休みで、保育園に行こうということになり、連絡しあって来たということでした。しかし、後で分かったことですが、「この日、自分たちのひまわり組の時の担任の先生が保育園

園にくる」という情報を聞きつけて、お互い連絡をしあい、会いに行こうというのが真相でした。実に 8 年ぶりの再会でした。

この日の第 2 弾は、入学式を終えた中学 1 年生。いつもであれば、中学生の姿を見ると、大きくなったなあと思うのですが、先ほどまで中 3 の姿を見ていただけに、まだまだ幼いなという感じがしました。中 1 と中 3。この 2 年間の差は大きく、この時期、子どもたちはズンズンと成長していきます。



次は 4 月 12 日。小学校の入学式の日です。3 月に卒園した 18 人は 4 つの小学校に進みましたが、この日は久しぶりに保育園に

来て友だちに会ったということで、園庭を走り回っていました。「ランドセル姿を見たら、すっかり小学生になったなあ〜」というのが、岩佐先生の感想でした。

